田川市立病院

医療連携だより 春号

令和7年
5月1日
発行

旧三井伊田田川鉱業所伊田竪坑櫓（いたたてこうやぐら）。
高さは28メートルで明治期の竪坑櫓として最大級の規模を誇り、平成19年10月には国登録有形文化財（建造物）に登録され、同年11月には経済産業省から近代産業遺産に認定されています。

田川市立病院　令和７年度　新体制、始動。

病院長就任のご挨拶

令和7年4月1日付で病院長に就任しました荒木優と申します。田川市立病院には令和4年10月から副院長として勤務しておりました。

平成30年の松隈前病院長の就任挨拶は、国が進めている地域包括ケアシステムについてでした。地域全体で連携・協力し合って医療・介護・生活支援を考えることの重要性を説かれていましたが、その後、新型コロナウイルス感染症が令和元年12月に発生し、世界的な大流行に至ったのはご存じの通りです。田川市立病院は福岡県第二種感染症指定医療機関でもあり、全職員が一丸となり、感染症に対応してまいりました。コロナ発生から5年後の現在、医療サービスの地域差の拡大、医療システムの毀損がコロナ前の予想よりさらに早く進んだようです。さらなる状況の悪化を防ぐために、医療・介護・地域住民それぞれが主役となり、田川地域の医療・生活環境の向上に取り組めるよう、お手伝いできればと考えております。

病院長
荒木　優
あらき　まさる

診療体制TOPICS

令和7年4月に22人の医師が着任し、主に以下の5つの診療科において増員や科長の交代などにより診療体制が変わりました。

■循環器内科　～診療体制強化～

循環器内科は、常勤医1人の増員により、常勤医3人体制から4人体制となりました。体制が充実されたことで、入院・外来診療や手術、検査、急患対応が強化されます(令和7年4月から日勤帯に限り緊急カテーテル検査・治療を開始)。当院は、田川地区唯一のカテーテル検査・治療可能施設としての役割を果たすべく、より強固な体制で診療を行います。

■消化器内科　～診療科長変更～

消化器内科は、常勤医3人体制で診療を行ってます。逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍の治療、ヘリコバクターピロリ菌感染症の検査・治療、早期胃癌の診断と治療、早期大腸癌や大腸ポリープの治療、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患の診療の受け入れが可能です。

■緩和ケア内科　～診療体制強化～

緩和ケア内科は、常勤医1人の増員により、常勤医1人体制から2人体制となりました。令和2年の小早川医師着任以降、緩和ケアの診療や教育の充実、緩和ケアセンター開設など、田川地域における緩和ケアの普及・啓発に努めてきました。医師の増員により、患者さんの苦痛に対し、より充実したサポート体制となりました。

■総合診療科　～診療科長変更及び診療体制強化～

総合診療科は、常勤医1人の増員により、常勤医3人体制から4人体制となりました。当科は、地域の医療機関と連携し専門的な医療を提供する中で、専門領域に特化せず、総合的に診療・診断することが利点です。臓器や疾患にとらわれず、他科と連携し、多くの疾患を合併する患者さんへの包括的ケアを行います。

■整形外科　～診療科長変更～

整形外科は、常勤医4人体制で診療を行っています。外傷性疾患（四肢の骨折、筋肉損傷と関節損傷）の診断・治療、慢性疾患（股関節、膝関節など）の診断・治療を行います。夜間・土曜日・休日は、骨折が認められる、または疑われる場合、オンコール体制で対応します。

新任医師の紹介

循環器内科　医長
井上　航之祐
いのうえ　こうのすけ

消化器内科　医長
武田　和大
たけだ　かずひろ

消化器内科　医員
藤井　陽三
ふじい　ようぞう

腎臓内科　医長
松本　英展
まつもと　ひでのぶ

腎臓内科　医員
原　裕一郎
はら　ゆういちろう

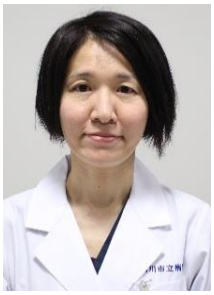
緩和ケア内科　医員
高野　弘之
たかの　ひろゆき

総合診療科　医長
野下　育真
のげ　いくま

総合診療科　医員
藏内　稔裕
くらうち　としひろ

総合診療科　医員
武富　文哉
たけとみ　ふみや

総合診療科　医員
石田　祥瑛
いしだ　しょうえい



小児科　部長
藤吉　順子
ふじよし　じゅんこ

小児科　医員
石倉　稔也
いしくら　としや

外科　医員
米野　正識
めの　まさのり

外科（脳神経外科）部長
庄野　禎久
しょうの　ただひさ

整形外科　部長
佐藤　太志
さとう　たいし

整形外科　医員
橋詰　惇
はしづめ　じゅん

整形外科　医員
神崎　真一
こうざき　しんいち

産婦人科　医員
野田　貴美子
のだ　きみこ

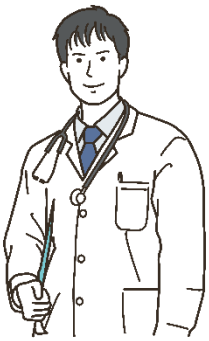
産婦人科　医員
武田　真太郎
たけだ　しんたろう

泌尿器科　医員
松岡　和福
まつおか　わたる

臨床研修医
新德　千広
しんとく　ちひろ

臨床研修医
齊藤　英毅
さいとう　たかき

よろしくお願いします



医療者向けに研修会を行っています

当院では、地域の医療従事者・介護従事者のみなさんとの連携を深めるために、当院各診療科の医師等による研修会（医療者向けオープンカンファレンス）を原則毎月1回開催しています。一般臨床で使える知識の紹介や日常診療での疑問にお答えし、討論しています。

5月　第2回は認定看護師（緩和ケア・糖尿病看護）によるセミナーです。

毎月 **第3火曜日**　18：30～19：30（**Ｚoom開催**）

Zoom ■ミーティングID：840　6144　5244
■パスコード：300244

詳しくはこちら

医療連携室からのご案内

患者紹介の流れ

TEL 0120-100-446まで、ご連絡をお願いします。
診療情報提供書を作成の上、FAX 0120-551-920まで送信してください。

▼

受入れの可否について
確認を行いお返事をします。

小児科は担当医師へ直接お電話
をおつなぎします。

※小児科医師の直通PHSにも
ご連絡可能です。

▼

画像検査：CT・MRI・RI・骨密度・生理・エコー検査

当院での受診歴、検査の種類、造影剤使用の有無、妊娠の有無について
確認の上、予約を入れます。

※RIの予約は画像センターが行います。
※造影検査の場合は、造影剤の副作用歴、アレルギー体質、
　血清クレアチニン値について確認させていただきます。
※糖尿病の有無、薬情が必要です。
※生理検査（誘発筋電図・フルポリ・肺機能・ＡＢＩ・エコー）
※検査によっては必要な事前検査があります。

▼

予約日時の決定後、検査予約票をFAXしますので、患者さんにお渡しください。

▼

次の必要書類の作成後、FAX 0120-551-920まで送信してください。

①単純CT・MRI・RI・骨密度・生理検査
　●診療情報提供書
②造影CT・MRI
　●診療情報提供書（血清Cr値記入）　●問診表　●同意書

できるだけ
早くお願い
します！

▼

患者さんご本人が診療情報提供書の原本をお持ちの上、田川市立病院（受付1番）までお越しください。
※造影CT・MRIの検査をされる方は、問診表・同意書の原本も必要です。

田川市立病院
〒825-8567
福岡県田川市大字糒1700番地2

【代表】
TEL:0947-44-2100　FAX：0947-45-0715
【医療支援センター】
TEL:0947-46-5213　FAX:0947-46-5030
MAIL:shiritsubyouin@lg.Tagawa.Fukuoka.jp

ホームページ